

特集

景観

「景観」ってなんだろう

風景？ 景色？

「景」は、「ながめ」そのもの

「観」は、それを眺める人のもつ価値観

観られる場所と観る場所があつて

その人がどう感じたかで「景観」が成り立ちます

自然だけでなく

人間が創り出したながめも

私たちが何気なく観ている風景も

「景観」そのものです

今回の特集は「景観」

ふるさとのおおむらのすてきな「景観」について

一緒に考えてみませんか

大村の景観

地域の特性を生かす

景観行政団体へ移行し「景観計画」を策定します

大村市は4月1日から「景観行政団体」へ移行しました。これは、良好で魅力的な景観を形成するために「景観計画」を定めることができ、アドバイザーや専門家による技術的な支援を行ったり、建築物や建設などについて景観に配慮するよう誘導を行うも

のです。

「景観行政団体」になることで、景観法に基づいた項目に該当する区域を指定し、その区域内で建築や建設など景観に関わる行為を行う際に、景観行政団体への届け出の義務が生じます。

市では、これらの動きに合わせて、景観条例の見直しや、市全域を対象とした「景観計画」の策定を市民の皆さんと協働で取り組んでいきたいと考えています。

古いものと新しいものが共存した景観を形成

皆さんは大村の「景観」についてどう感じていますか。

大村は、波静かな大村湾から緑豊かな多良山系へとなだらかにせり上がっていく地形で、多良山系に源を発する川の流域に平野部が広がり、市内のどこからでも高く広がる空や豊かな緑と水を感じさせる地形を作り出しています。

また、玖島城跡から広がる武家屋敷や石垣が積まれた通りやまちなみ

が点在し、城下町として歴史を育んだ情緒豊かな背景も感じさせます。

このように、大村は緑豊かな自然や歴史的な環境のなかで、近年は市街地の拡大や開発がすすみ、古いものと新しいものが共存した景観を形成しています。

しかし、人々の暮らしのなかで、日ごと目にするまちの様子もかわり、美観が損なわれるのではないかと心配されています。

特性を生かし、市民の思いが反映された景観を

大村は、世界的・全国的に有名な歴史遺産や世界遺産があるわけではありません。しかし、大村の守り育てるべき景観資源もたくさんあるはずです。建物のまちなみや山々を望む風景、日ごろのまちの様子など地域の特性を生かしてできあがる「景観」は、その地域特有の財産となるはずです。

今後、「大村市の景観計画」を策定

するときに、誰もが「わがまち」として誇りに思い、まちの特性を生かして市民の皆さんの思いが反映された景観資源を見出し、継承していかなければなりません。大村らしい景観計画を作るために市民の皆さんと一緒を考えてまいります。



大村の活動

市民協働の取り組み

景観資源調査団

「すてきな景観見つけ隊」

大村の景観を守り育てようと、平成22年度から市民と協働による景観まちづくりの取り組みが始まっています。公募で集まった市民により結成された景観資源調査団「すてきな景観見つけ隊」の活動は、景観について理解を深めることから始まりました。

景観に関心を持ち、カメラを片手にまち歩きを行い、市内の景観資源を調査。写真を持ち寄り、景観資源の評価や景観の価値、大村らしさなどを議論しました。

景観とは、人の目で眺め

心に刻む風景

すてきな景観見つけ隊は、大村の景観について、大村を表現する歴史的背景のなかに、形あるものだけでなく、雰囲気や匂いなども景観を表現する一因であると認識しました。景観とは、人の目で眺め、心に刻む風景であるのかもしれない。

景観について自ら考え、歩き、意識することで、自分たちの住むまちをより良いものにしていこうという「景観まちづくり」に向けて、市民と行政が協働で取り組んでいかなければなりません。

すてきな景観フォーラムで

活動内容を報告

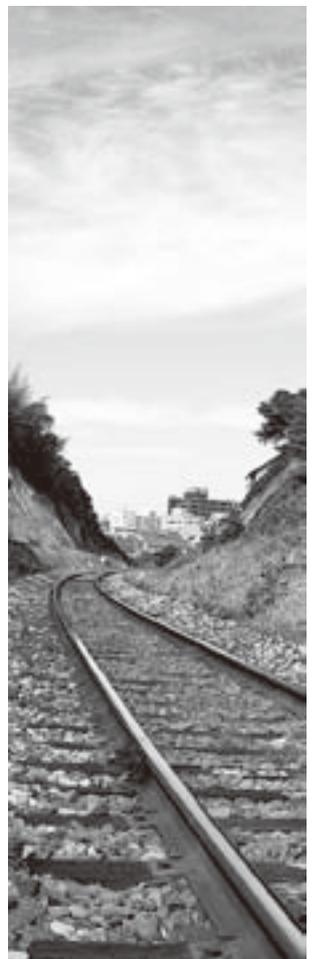
3月13日、すてきな景観見つけ隊が、景観資源調査を行ってきたことをもとに「景観とは何か」「景観まちづくりとは何か」を広く市民に知ってもらうと「すてきな景観フォーラム」を市コミセンで開催しました。パネルディスプレイ形式で、一年間の活動内容を市民の皆さんに発表し、またなか景観の見方や景観資源の発掘、今後の景観をめぐる問題点などについて、参加した皆さんとともに考え議論を交わしました。

「すてきな景観」を

参加者と考える

昨年、「残しておきたい景観」「思わず絵に描いてみたいと思う景観」の写真を募集したところ、約200点の応募がありました。すてきな景観フォーラムのなかで、その写真を展示し、隊員と参加者で評価作業を行いました。

このフォーラムは、参加した市民の皆さんとともに、景観について考える有意義な時間になりました。隊員の皆さんは、今後、一人でも多くの人と魅力ある景観を守り育てるための活動を続けたいと願っています。





大村のこれから

景観まちづくりに向けて

美しいまちを
みんなで作ろう

景観まちづくりを進めるには、市民の皆さんや事業所などと市が協働で取り組むことが大切です。市では、景観活動に対する支援やすてきな景観見つけ隊のステップアップを目指し、自分たちの手で愛着が持てる美しい景観まちづくりにつなげていきます。

Message



長崎ウエスレヤン大学
地域総合研究所長
佐藤 快信 教授

すてきな景観とは 大村らしさ

私が住民参加のまちづくりを
実践している関係で、今回の「大
村市景観資源調査」にファシリ
テーター（世話人）として関わり
ました。

景観資源調査は、住民主体で
景観を軸にまちづくりをおこ
なっていくものです。「すてきな景
観見つけ隊」を編成し、景観資源
調査や景観評価などの学習も
行ってきました。

その結果、「残したくなる」

「思わず絵に描いてみたくなる」
「心やすらぐ」「散歩したくなる」
景観がすてきな景観であり、そ
れはアメニティ（快適性）につな
がることもわかってきました。また、
すてきな景観とは、他の地域には
ない「大村らしさ」そのものでも
あります。

「景観まちづくり」とは、普段
見ている景観に対して、市民の皆
さんが関心を持つようになったと
きにはじめて「景観まちづくり」
につながっていきます。

今後も、景観資源マップをさら
に充実させ、行政と住民のパート
ナーシップによる「景観まちづく
り」の仕組みづくりのあり方につ
いて皆さんとともに考えていきたく
いと思っています。



平成23年度

すてきな景観見つけ隊 —— 隊員募集 ——

まち歩きを楽しみながら、市
内の景観資源の調査や発掘を
行い、景観まちづくりについ
てもに考えます。

活動期間

- ・ 5月～平成24年3月
- ・ 毎月1～2回

★第1回開催

とき 5月24日(火)
午後7時30分～
ところ 市コミセン

申込方法

所定の申込書に必要な事
項を記入のうえお申し込みく
ださい。申込書は市のホーム
ページからも入手できます。

申込期限

5月10日(火)

※詳しくはお問い合わせください。

■都市計画課(内線432)